

用語解説

本資料の文中にある文言についての用語解説を記載したものです。
「あいうえお順」に並んでいます。

ページ	読み方	用語	説明
2	あたらしいてんぽ・ぎょうむかんりしずてむ	新しい店舗・業務管理システム	生活協同組合コープかごしま（以下、生協コープかごしま）が運用する店舗・無店舗・組合員管理・業務管理・会計の各システムは、2012年6月より生活協同組合連合会コープ九州事業連合（以下、コープ九州）へシステム統合を経て現在に至っております。 コープ九州では2022年7月から店舗システム、業務管理システムの再構築を進め、2025年3月21日より新システムの運用が開始されました。しかしながら、新システムの運用開始後、業務管理システムが正常に移働せず、2024年度3月決算処理ができない状態となりました。現在は徐々に復旧しており、3月決算処理も終わることができ、8月29日の「臨時総代会」で2024年度の事業・決算報告を行ない承認いただきました。
2	きょうきゅうだか	供給高	一般に言う売上高のことで、商品がどれだけ売れたかがわかります。
2	じぎょうけいひ	事業経費	事業に関連して発生するコストで、収益を得るために使用した費用のことです。
2	けいじょうしょうよ	経常剰余	「経常剰余」＝「事業剰余金」＋「事業外収支」 事業剰余金:商品の売上など、生協の主な活動から得られる利益。 事業外収支:事業とは直接関係のない、投資収益や雑収入などの利益。
あ行			
10	あるかりけいじゅうきょうせんざいぐりぼん	アルカリ系住居用洗剤グリボン	地域循環型リサイクルから生まれた住居用洗剤で、廃食用油からバイオディーゼル燃料を精製する過程で出る「廃グリセリン」を主原料としています。換気扇やコンロなどのしつこい油汚れをキレイに落とします。2026年1月よりコープかごしまの店舗で取り扱いを開始いたしました。
8	いぶしょうでばーと	指商デパート	指宿市内の指宿商業高校で、生徒が主体（株主）となって仕入れから販売、会計までを行うイベントです。地元にある様々な企業と一緒に販売するブースなども多数あり、果物や野菜などの農産物、特産加工品や植物の他に様々なキッチンカーによる販売などもあります。
8	おおすみちょうせいかい	大隅調整会	生協内の横断的なチームで鹿屋センター・岩川事務所・かのや店・しぶし店・ヘルパーステーション鹿屋が協力して、地域コミュニティに対してどう貢献できるか？をテーマに生協の総合力発揮で組合員や地域貢献を協議する会議体でゲストとして行政や社協、特産品協会の方々の参加で地域の状況を知る機会や生協の事業活動を伝える場にもなっています。
9	おおすみすたんぷらりー	大隅スタンプラリー	大隅地域の産直品を組合員に広く知らせ、利用普及につなげることを目的とした産直グループです。 2011年から生産者・メーカーの方々との産地交流会や学習会を企画し、年間を通じてスタンプラリー化して取り組むことで、より多くの組合員と生産者とが親しく交流できる場づくりを行ってきました。

4	おためしわんこいんせつと	お試しワンコインセット	生協の新規加入者向けに、通常よりも大幅に割引（多くの場合500円）して提供する、人気商品の詰め合わせセット。
か行			
5	かいものしえんのとりくみ	買物支援の取り組み	地域の過疎化に伴い、スーパーや個人商店の閉店や比較的近隣にストア等あっても高齢に伴い普段の買い物に苦勞されている家族の増加などあり、買物困難者への対応は、行政や地域の大きな課題となっています。この様な状況の中、行政や他の団体とも情報の共有化や連携をとりながら、店舗では買物代行や買上配達の取り組み、買物送迎車、移動店舗車を運行しています。また、無店舗事業では個別配達や班配達も離島を含めて県内全域展開していますので買物支援の取り組みと言えますが、高齢になってからの注文はご苦勞が多いようです。最近では地域でのサロン活動等に合わせて、班を結成していただきコミュニティセンターや公民館に配達する取り組みも買物支援活動の一つとしてすすめています。尚、サロン活動や紹介の為の試食会等には組合員組織にもご協力いただいています。
7	かきひえいぎょうしゅう	夏季非営業週	無店舗事業本部においては、8月2週目を夏季非営業週として、配達をお休みしました。近年の酷暑もあり、配達に携わる職員の健康を守り、今後も働き続けられる環境を整備していくために、2025年度より実施しました。
8	かせだちょうせいかい	かせだ調整会	地域での生協の総合的な利用促進やお役立ちを図るために、月1回地域の事業所長と関係する本部部署が集まり、事業間の連携を協議したり地域状況を意見交換し取り組みを検討する場です。行政や関係機関の方にも参加いただく場合もあります。
3	かちそきゅう	価値訴求	商品が供給（開発）されることになった背景、商品が供給されることで地域にもたらす影響など商品価格以上の価値がある事を組合員へ伝えること。
8	かのやちゅうおうよんしんかい	かのや中央四心会	地域の困りごと等に関していろいろな意見を出し合い、尊重してチャレンジすることを大事にしている鹿屋市の北田方面4つの自治会を結集させた呼称。
4	きゃっしゅれすけっさい	キャッシュレス決済	現金を直接やり取りしないのが、キャッシュレス決済の特徴です。キャッシュレス決済とは、お札や小銭などの現金を使用せずにお金を払うことです。キャッシュレス決済手段には、クレジットカード、デビットカード、電子マネー（プリペイド）やスマートフォン決済など、様々な手段があります。
8	きょうどうくみあいかなていけいしょうひん「すまいるりんぐ」	協同組合間提携商品「smile ring」	JA鹿児島県経済連グループと生協コープかごしまは協同組合間提携によりさまざまな取り組みを組織の垣根を越えてすすめています。その取り組みの1つとして「食の安心・安全と地域農業・地域経済活性化に貢献する」ことを目的に、意見を出し合い共同で開発したのが、協同組合間提携「smile ring」商品です。商品には、マークがついています。
4	くらしおうえんこーぷのひ	くらし応援コープの日	生協コープかごしまのお店では、毎月1日・15日に家計からくらしを応援します。単なる「値引きセール」ではなく、この日にコープでお買い物をする事で、家計から社会を考える日。だから「くらし応援 コープの日」です。
10	けんぼうきねんびしみんのつどい	憲法記念日市民のつどい	1997年の憲法施行50周年を機に「憲法の意義を知り、くらしに生かすこと」を目的に、広く市民に呼びかけ、学び考える機会として、「憲法記念日市民のつどい」を毎年5月3日に開催しています。主な内容は講演会、実行委員会は生協コープかごしまを含む7つの団体です。
6	こーぷひろば	コープひろば	総代会報告や組合員の運営参加の場の一つとして開催している生協コープかごしまの取り組み。コープの店舗や地域の公民館など集まりやすい場所で、この間は、7月から9月にかけて開催、組合員なら誰でも参加できます。会場にでかけて参加する「あつまるひろば」、個人で資料を見たり友だちといっしょに開催したりする「きままにひろば」があります。

9	こーぷふえす た	コープ フェスタ	生産者やメーカーと交流、商品の試食などを通して、産直品やコープ商品の良さや、つくる側の思いを知っていただく催しです。組合員に限らず、どなたでも参加できる会で、普段のお買物ではお伝えすることが難しい、活動や取り組みなども紹介しますので、生協コープかごしまを知っていただく機会にもなります。
8	こくさいきょ うどうくみあ いでー	国際協同 組合デー	1923年、国際協同組合同盟は、毎年7月の第1土曜日を「国際協同組合デー」と決めました。国際協同組合デーは、世界中の協同組合が国際連帯と世界平和を願い、協同組合への認知を高め、協同組合運動の思想を広めることを目的に定められたものです。
2	こくさいきょ うどうくみあ いねん	国際協同 組合同年	国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標（SDGs）に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2012年に続き、2025年を国際協同組合同年（International Year of Cooperatives：IYC）に決めました。また、2025年12月、国連総会本会議は、決議「社会開発における協同組合」を圧倒的賛成多数で承認し、10年ごとに国際協同組合同年（IYC）が設けられることとなりました。
9	こーぷえす でいーじーす こうどうせん げん	コープ SDGs 行動宣言	SDGsの達成にむけ、生協もその一端を担うべく策定された行動宣言です。 7つの取り組みを通じてSDGsの実現に貢献することを約束します。 全国の生協では「コープSDGs行動宣言」を通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。 詳しくは二次元コード よりお読み取りください。 
3	こーぷかごし まぎゅうにゅ う	コープ かごしま 牛乳	大隅地域の43戸の生産者が心をこめて育てた牛のおちちからつくった生乳100%のおいしい牛乳です。これまでのコープ牛乳から装いもあらたに、2023年から単協PB商品（プライベートブランド）として供給しています。
さ行			
5	さてらいとか いじょう	サテライト 会場	大きな会議やイベントにおいて、メインとなる会場（本会場）とは別の場所に設けられた、中継や同時開催のための別会場のことです。
10	さとやま・さ とうみのとり くみ	里山・ 里海の 取り組み	里山・里海への環境保全活動 生協コープかごしまでは、2011年度に「環境団体への環境募金贈呈」を行って以来、里山・里海の環境保全のための支援を行っています。里海については始良市の「NPO法人くすの木自然館」（海辺の生物学習・海岸清掃等）と、里山については日置市の「若草会」といっしょに環境保全に取り組んでいます。どちらも組合員といっしょに海や山の現状を知り、環境を守ることの大切さを学ぶ機会とします。
5	さろんかつど う	サロン 活動	全国社会福祉協議会が「ふれあい・いきいきサロン」として提唱した活動で、地域を拠点に住民同士がともに企画し運営していく楽しい地域の仲間づくり活動です。地域の居場所として気軽に出かけて交流できる場として鹿児島でも広がってきています。
7	さんかげつ ふおろーけん しゅう	3カ月フォ ロー研修	入協して3か月が過ぎた新卒採用職員の到達や課題等について、現状の共有を図り、今後の仕事に活かすことを確認する。また、次回7ヶ月フォロー研修に向けた目標を設定する場になります。

7	しゅっせいご きゅうぎょう しえんきゅう ふきん	出生後休 業支援給 付金	子どもの出生直後の一定期間内に、原則、両親がともに14日以上 の育児休業を取得する場合に、最大28日間、休業開始前の給 与の13%を支給する制度。
9	しよくのちい きないじゅん かん	食の地域 内循環	例えば、肥育、収穫、生産、製造、消費を県内などのように一 定の地域内で行うこと。
20	じょぶろー てーしょん	ジョブ ローテー ション	定期的な配置転換を行い、従業員にさまざまな業務経験を積ま せる制度のことです。事前に策定した育成計画に基づいて、一 定期間ごとに異なる部署や業務を経験させます。
21	すいへいりさ いくるか	水平リサ イクル化	従来のリサイクルは、ペットボトルを卵パックや繊維（フリース） にするなど、別の製品に作り変えるのが主流でした。しかし、こ れでは最終的にゴミになってしまいます。水平リサイクルは、同 じ製品に何度も戻すことができるため、資源を循環させ続ける 「究極のリサイクル」と言われています。
18	すきまばいと	スキマバ イト	「空いた時間（スキマ時間）」に、「数時間だけ」「単発で」 働く新しいアルバイトのスタイルのことです。 従来のアルバイトのように「毎週月・水の13時から」といった 固定のシフトがなく、自分の都合に合わせてアプリなどで仕事 を探し、即座に働けるのが特徴です。
4	せいきょうひ んしつ	生協品質	安心して利用できる安全な商品、信頼のおける職員など、生協 コープかごしまとして守るべき組合員への約束。
16	せいさんしょ うひちよっけ つうんどう	生産消費 直結運動	持続可能な地域社会を地域の中でつくっていくための運動。 ・計画的生産と計画的消費の実現 ・相互に安定的な量と品質 と価格の実現 ・産直商品、コープ商品、地域提携商品の自覚 的生産と自覚的消費を目指す（環境・地域・社会・人に配慮し た取り組み＝倫理的生産、消費）
3	せいふびちく まい	政府備蓄 米	不作や災害といった有事の食料不足に備えて、政府が一定量を 保管しているお米のこと。
6	せんご80ね んのへいわき かく	戦後80 年の平和 企画	生協コープかごしまは、設立当初より「よりよき生活と平和の ために」というスローガンを大切にしてきました。2025年、戦 後80年の節目を迎えるにあたり、2024年9月、一般公募で集 まった48人の組合員による実行委員会を立ち上げ、「平和」に ついて話し合い、より多くの人の参加参画や新しいつながりづ くりを目標とし、7つのさまざまな企画に取り組んできました。 12月8日、実行委員会の最後の取り組みとして、「平和のメッ セージ」を発信しました。
10	せんそうたい けんろうどく げきしなりお しゅう	戦争体験 朗読劇シ ナリオ集	戦後70年の取り組みの中で、生協コープかごしまがこれまで に作成した「戦争体験集」を、より身近に活用していただき ことを目標に、「虹のおり鶴グループ（平和グループ）」が5冊 のシナリオ集としてまとめました。
た行			
5	たんじょうま えしょうひん	誕生前 商品	たすけあい共済の、お誕生前申し込み（出生前申込制度）。妊 婦さんが契約者となって、妊娠中にお腹のお子様を《たすけあ い》J1000円コースに加入申し込みできる制度です。妊娠 中に申し込むことでお子様の誕生（出生）の連絡と入金が確認 されると保障が開始されます。（一定の加入条件があります。）
18	てまえどり	てまえ どり	商品棚の手前にある商品など販売期限の迫った商品を積極的に 選ぶ購買行動。

20	てんぽきほん 5げんそく	店舗基本 5原則	店舗基本5原則とは、 ・「明るく元気で親切なお店」 （フレンドリー対応） ・「清潔で整理整頓が行き届いたお店」 （クリンリネス） ・「鮮度・品温・品質管理が行き届いたお店」 （鮮度管理） ・「品切れ、廃棄の少ないお店」 （ロス削減） ・「メニュー提案の充実を図り、くらしに役立つお店」 （レシビ提案）
6	とくはいんせい いと	特派員 制度	組合員のみなさまにご参加いただき、組合員ならではの目線で コープの魅力を発信していただく仕組みです。 地域の活動や、お店での出来事、商品との出会いなど、コープ のある暮らしをテーマに、みなさまの言葉で情報発信をしてい ただいています。 特派員の投稿は、コープかごしまのホームページ内にある専用 ページで掲載しています。
11	とれーなーよ うせいこうさ	トレー ナー養成 講座	鹿児島市で実施中の「よかよかひろば」同様コープ共済連の健 康づくり支援企画の一環として、健康づくり企画の地方展開を 目指して「新しい介護予防体操(仮)」を鹿屋体育大学との共同で 開発に取り組んでいます。「トレーナー養成講座」は、新しい 体操の教室運営や体操の普及を担う組合員トレーナーを養成す るための講座です。
な行			
20	にんじせいさ んせい	人時生産 性	職員1人が1時間あたりに生み出す利益のこと。
は行			
10	ばいおでいー ぜるねんりょ う	バイオ ディーゼ ル燃料	生協コープかごしまでは2023年12月から、廃食用油を「バイ オディーゼル燃料(以下BDF)」へリサイクルする取り組みを始め ました。組合員が持ち寄った廃食用油や店舗惣菜の廃食用油を 回収し、始良市に建てた自前の工場でBDFを精製、配送車両の 燃料にしています。
3	はさっぴ	HACCP	「Hazard（危害）」「Analysis（分析）」「Critical（重 要）」「Control（管理）」「Point（点）」という言葉の略語 で、食品を製造する際に安全を確保するための管理手法のこ とを言います。原材料の受入から最終製品までの工程ごとに、微 生物による汚染や異物の混入などの危害を予測した上で、危害 の防止につながる特に重要な工程を連続的・継続的に監視し、 記録することにより、製品の安全性を確保します。これまでの 最終製品の抜き取り検査に比べて、より効果的に安全性に問題 のある製品の出荷を防止できるとされています。生協コープか ごしまは、「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理」という基 準に則り対応しています。
4	はじめてばこ	はじめて ばこ	KTS鹿児島テレビの「smile baby project」としての取り 組みで、鹿児島に生まれてきてくれてありがとうございますと、出産され た方へお届けする企画です。中には、複数の企業からのプレゼ ントが入っていて、お届けは生協コープかごしまが担っています。
3	ひいでんしく みかえ	非遺伝子 組み換え	遺伝子組換え技術を使用せずに、従来の自然な交配や選別に よって作られた農産物や食品のことです。
11	ふーどどらい ぶ	フードド ライブ	（環境省より）フードドライブとは、家庭で余っている食品を 集めて、食品を必要としている地域のフードバンク等の生活困 窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄付する活動のこと です。

8	ぶちいぶしょうでばーと	ブチ指商 デパート	ICPの課外授業として、生徒たちが主体となり、地元企業から商品を仕入れ、コープ指宿店での販売を通じて地域の方々と交流を行いました。また、生徒たちは店頭にてコープ商品の推奨販売にも取り組みました。
3	ぶらいべーと ぶらんどしょ うひん	ブライ ベートブ ランド商 品	生協コープかごしまが、メーカーや組合員といっしょに開発・製造している商品で、緑色のC（またはCOOP）マークのついた商品です。略して、PB商品（ピービー）といいます。
20	ふるせるふれ じ	フルセル フレジ	商品のバーコードの読み取りから精算（支払い）まで、すべての工程を客自身が行うレジシステムのことです。
5	ふれあいびん	ふれあい 便	「ふれあい便」には、午前中に注文をうかがって、午後から注文品をお届けする「お買い物代行」と、お店でお買い物した商品をお預かりして、商品を配達する「お買い上げ配達」があります。「お買い物代行便」は、個配・共同購入と異なり、注文したその日にお届けですが、取り扱い商品が限られます。また配達エリアもお店の周辺に限らせていただいております。現在、かせだ店を除く18店舗での取り組みとなっています。
6	ぶんかかん しょうかい 『まい・む』	文化鑑賞 会『ま い・夢』	『まい・夢(まい・む)』は、毎月定額の会費を積み立てて、年間3～4回の生の舞台(例会)を観る会員制の文化鑑賞会です。「例会」での演目は、会員で組織する運営委員会で話し合って決めます。また、例会毎に「サポーター会」を作り、事前の宣伝や当日の運営にも会員自身が参加し、よりよい芸術文化を地域に楽しみながら広げています。
6	べじちえっく	ベジ チェック	手のひらをセンサーに約30秒かざすだけで、推定される野菜摂取量を測定できる機器。
10	ぼとるすかつ しゅ	ボトルス カッシュ (ペット ボトル回 収機)	ペットボトル回収機の名称。ボトルを圧縮して回収する機械です。組合員自身が回収したペットボトル販売代金の使い道を指定できるドネーション（寄付）を開始。ペットボトルを投入する前に、ドネーション先を指定して投入します。現在、離島特販運賃基金、環境募金、ユニセフ募金など設定しています。現在の設置店舗は、紫原店・谷山店・南谷山店・田上店・西陵店・城西店・荒田店・吉野店・宇宿店・かのや店・国分店・出水店・しぶし店・川内店の14店舗です。
ま行			
20	まるちじょぶ か	マルチ ジョブ化	主に「多能工化（たのうこうか）」を指し、1人の従業員が複数のスキルを持ち、さまざまな仕事ができるように人材育成する仕組みのことです。例えば、普段は「レジ」を担当しているスタッフが、混雑が落ち着いている時間は「品出し」を行い、さらに「サービスカウンター」の業務もこなせる状態です。
9	むぎのめ つながろう みんなみんな ふえすた	むぎのめ つながろ う みんな なみんな フェスタ	社会福祉法人妻の芽福祉会と福祉生活協同組合むぎのめ、及びむぎのめを支援する会の共催企画です。生協コープかごしまも協賛団体として実行委員会に参加しています。2025年11月の開催では「戦後80年」「国際協同組合年」をテーマとして、より多くの市民に参加してもらうこと、「むぎのめ」を知ってもらうこと、交流することを目的に、ステージ企画や模擬店、バザーのほか、お楽しみ企画など行いました。生協コープかごしまも平和企画や当日運営に協力しました。

5	もでるせい ぎょう	「モデル 生協」 (取り組 みを全国 に発信す る役割)	コープ共済連が共済の推進を図る目的で2024年度6生協でスタートさせた取り組みで、2年目に7生協が追加となり全国で13生協が取組んでいます。(生協コープかごしまは今期2年目よりエントリー) 目的は、コロナ禍で落ち込んだ共済の推進力をコープ共済連が様々な支援を行うことで推進の成功事例を作り出し、推進の成功事例を全国に水平展開していくことを目指した試みです。
ら行			
5	りとうとくは んうんちんき きん	離島特販 運賃基金	生協コープかごしまの個配・共同購入は、鹿児島県本土のみならず、有人離島の定期航路がある離島の島々へも商品のお届けを行っています。離島で暮らす組合員は、毎週配達基本料金99円+利用に応じて運賃をいただいて配達を行っています。そのようなことから「離島で暮らす組合員の負担を少しでも軽減したい」と、本土の組合員から上がった声から、2013年度より「離島特販運賃基金」の取り組みが始まりました。2024年度はみなさんのご協力で1,608,017円の基金が集まり、年間を通して4回の配達基金料金の還元を行ってきました。引き続きみなさまの基金へのご協力・ご参加をよろしくお願いいたします。
10	ろくてんいち ななへいわの つどい	6.17平和 のつどい	1945年6月17日は、鹿児島市が県内で最大の米軍による空襲を受けた日です。生協コープかごしまでは、その日を語り継ぐことで、あらためて戦争の事実を忘れず、平和についてみんなで考える取り組みを毎年行っています。
10	ろすのんぽい んと	ろすのん ポイント	コープのお店では、おもに消費期限管理のため、商品毎に基準を設け、期限が迫っている商品に「値引きシール」を貼り「まだ美味しく利用できる」「早めに召し上がられるならこちらを選んでほしい」の気持ちを込めてご案内しています。そのことが廃棄による食品ロスをなくすことにつながります。この「値引きシール」が貼ってある商品をご購入いただくと「ろすのんポイント」を付与しています(1日に1回・組合員カード提示の方のみ)。この「ろすのんポイント」が40ポイントたまると、レジで100円の値引きができる「コープの満点券」を発行します。

協同組合のアイデンティティに関するICA声明

定義

協同組合は、共同で所有し民主的に管理する事業体を通じ、共通の経済的・社会的・文化的ニーズと願いを満たすために自発的に手を結んだ人々の自治的な組織である。

価値

協同組合は、自助、自己責任、民主主義、平等、公正そして連帯の価値を基礎とする。それぞれの創設者の伝統を受け継ぎ、協同組合の組合員は、正直、公開、社会的責任、そして他人への配慮という倫理的価値を信条とする。

原則

協同組合原則は、協同組合がその価値を実践に移すための指針である。

【第1原則】自発的で開かれた組合員制

協同組合は、自発的な組織である。協同組合は、性別による、あるいは社会的・人種的・政治的・宗教的な差別を行わない。協同組合は、そのサービスを利用することができ、組合員としての責任を受け入れる意思のある全ての人々に対して開かれている。

【第2原則】組合員による民主的管理

協同組合は、その組合員により管理される民主的な組織である。組合員はその政策決定、意思決定に積極的に参加する。選出された代表として活動する男女は、組合員に責任を負う。単位協同組合では、組合員は（一人一票という）平等の議決権をもっている。他の段階の協同組合も、民主的方法によって組織される。

【第3原則】組合員の経済的参加

組合員は、協同組合の資本に公平に拠出し、それを民主的に管理する。その資本の少なくとも一部は通常協同組合の共同の財産とする。組合員は、組合員として払い込んだ出資金に対して、配当がある場合でも通常制限された率で受け取る。組合員は、剰余金を次の目的の何れか、または全てのために配布する。

- 準備金を積み立てることにより、協同組合の発展のため、その準備金の少なくとも一部は分割不可能なものとする
- 協同組合の利用高に応じた組合員への還元のため
- 組合員の承認により他の活動を支援するため

【第4原則】自治と自立

協同組合は、組合員が管理する自治的な自助組織である。協同組合は、政府を含む他の組織と取り決めを行ったり、外部から資本を調達する際には、組合員による民主的管理を保証し、協同組合の自主性を保持する条件において行う。

【第5原則】教育、訓練および広報

協同組合は、組合員、選出された代表、マネージャー、職員がその発展に効果的に貢献できるように、教育訓練を実施する。協同組合は、一般の人々、特に若い人々やオピニオンリーダーに、協同組合運動の特質と利点について知らせる。

【第6原則】協同組合間協同

協同組合は、ローカル、ナショナル、リージョナル、インターナショナルな組織を通じて協同することにより、組合員に最も効果的にサービスを提供し、協同組合運動を強化する。

【第7原則】コミュニティへの関与

協同組合は、組合員によって承認された政策を通じて、コミュニティの持続可能な発展のために活動する。

協同組合のアイデンティティに関するICA声明とは、国際協同組合同盟(ICA)が1995年のマンチェスター総会で決めた、21世紀に向けた世界の協同組合の活動指針を示す新しい協同組合の定義、価値、原則です。